

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年12月7日

【四半期会計期間】 第35期第1四半期(自平成22年7月1日至平成22年9月30日)

【会社名】 株式会社テー・オー・ダブリュー

【英訳名】 TOW CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長兼最高執行責任者(COO)
江草康二

【本店の所在の場所】 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 神谷町セントラルプレイス

【電話番号】 03(5777)1888

【事務連絡者氏名】 常務取締役兼執行役員管理本部長 木村 元

【最寄りの連絡場所】 東京都港区虎ノ門四丁目3番13号 神谷町セントラルプレイス

【電話番号】 03(5777)1888

【事務連絡者氏名】 常務取締役兼執行役員管理本部長 木村 元

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、当社の第1本部の特定のチームにおいて原価計上及び売上計上に関し、不適切な会計処理が行われていたことが判明したことを受けて、取締役社長を委員長とする社内調査委員会を設置し、不適切な会計処理の内容把握、原因及び動機の解明、再発防止策の提案等を行うとともに、当社において他に同様の事例がないことを徹底的に調査し、他には問題がないことを確認いたしました。調査にあたっては、弁護士及び公認会計士等の外部専門家から適宜助言を受けるなどし、調査の適法性、適正性等の確保に努めました。

当社取締役会は、平成24年12月7日、社内調査委員会から調査結果の報告を受け、売上高、売上原価の修正等必要と認められる訂正を行うことといたしました。

これらの決算訂正により、当社が平成22年11月15日に提出いたしました第35期第1四半期（自平成22年7月1日至平成22年9月30日）に係る四半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

連結経営指標等

第2 事業の状況

1 制作、受注及び販売の状況

(1) 制作の実績

(3) 販売実績

販売実績

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

(2) 財政状態

(3) キャッシュ・フローの状況

第5 経理の状況

2 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書

第1 四半期連結累計期間

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(1 株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

(訂正前)

回次	第34期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第35期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第34期
会計期間	自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日	自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成21年7月1日 至 平成22年6月30日
売上高 (千円)	3,200,424	2,248,376	12,575,536
経常利益 (千円)	102,158	49,227	670,516
四半期(当期)純利益 (千円)	50,272	8,421	357,173
純資産額 (千円)	5,041,031	4,985,674	5,152,344
総資産額 (千円)	8,415,798	7,910,947	8,457,679
1株当たり純資産額 (円)	437.86	435.33	447.39
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	4.37	0.73	31.03
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	59.9	63.0	60.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	116,446	120,736	790,896
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	74,358	20,569	150,685
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	84,302	188,700	372,070
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,667,405	2,122,121	2,210,653
従業員数 (名)	163	174	173

(注) 略

(訂正後)

回次	第34期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第35期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第34期
会計期間	自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日	自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成21年7月1日 至 平成22年6月30日
売上高 (千円)	3,210,913	2,248,376	12,551,782
経常利益 (千円)	100,594	50,042	635,297
四半期(当期)純利益 (千円)	49,345	4,819	314,595
純資産額 (千円)	5,027,829	5,065,014	5,078,519
総資産額 (千円)	8,415,384	8,508,264	8,396,182
1株当たり純資産額 (円)	436.75	428.57	440.98
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	4.29	0.42	27.33
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	59.7	62.5	60.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	116,446	120,736	790,896
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	74,358	20,569	150,685
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	84,302	188,700	372,070
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	1,667,405	2,122,121	2,210,653
従業員数 (名)	163	174	173

(注) 略

第2 【事業の状況】

1 【制作、受注及び販売の状況】

事業の種類別セグメントを記載していないため制作の実績、受注の状況及び販売の状況はカテゴリー別で記載しております。

(1) 制作の実績

当第1四半期連結会計期間の制作の実績をカテゴリーごとに示すと次のとおりであります。

(訂正前)

カテゴリー別	当第1四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期期比(%)
販促	1,513,289	26.8
広報	559,362	31.8
博展	-	-
制作物	134,819	18.2
文化/スポーツ	-	-
合計	2,207,471	23.0

(注) 上記の金額はイベント制作に要した費用で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(訂正後)

カテゴリー別	当第1四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期期比(%)
販促	1,512,538	26.8
広報	559,362	31.8
博展	-	-
制作物	134,819	18.2
文化/スポーツ	-	-
合計	2,206,720	23.1

(注) 上記の金額はイベント制作に要した費用で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売の状況

販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績をカテゴリーごとに示すと次のとおりであります。

(訂正前)

カテゴリー別	当第1四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
制作売上高		
販促	1,473,346	23.5
広報	613,862	32.2
博展	-	-
制作物	141,130	3.4
文化/スポーツ	-	-
小計	2,228,339	30.1
企画売上高	20,036	34.9
合計	2,248,376	29.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(訂正後)

カテゴリー別	当第1四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
制作売上高		
販促	1,473,346	23.5
広報	613,862	32.2
博展	-	-
制作物	141,130	3.4
文化/スポーツ	-	-
小計	2,228,339	30.1
企画売上高	20,036	34.9
合計	2,248,376	29.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

(略)

このような事業環境の中、当第1四半期の売上高は22億48百万円（前年同四半期比29.8%減）、営業利益は47百万円（前年同四半期比52.7%減）、経常利益は49百万円（前年同四半期比51.8%減）、四半期純利益は8百万円（前年同四半期比83.3%減）となりました。

(訂正後)

(略)

このような事業環境の中、当第1四半期の売上高は22億48百万円（前年同四半期比29.8%減）、営業利益は48百万円（前年同四半期比51.1%減）、経常利益は50百万円（前年同四半期比50.3%減）、四半期純利益は4百万円（前年同四半期比90.2%減）となりました。

(2) 財政状態

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億46百万円減少し、79億10百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5億44百万円減少の66億10百万円となりました。これは主に、未成業務支出金が2億34百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が4億15百万円、未収入金が2億59百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2百万円減少の12億99百万円となりました。

固定資産のうち有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ4百万円増加の1億23百万円となりました。これは主に、パソコンの購入等によるものであります。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ2百万円減少の94百万円となりました。これは主に、減価償却によるものであります。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ4百万円減少の10億82百万円となりました。これは主に、投資有価証券が4百万円増加しましたが、敷金及び保証金が8百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億69百万円減少の25億53百万円となりました。これは主に、買掛金が1億88百万円、未払法人税等が1億78百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ11百万円減少の3億71百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が8百万円、長期借入金が4百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億66百万円減少の49億85百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億75百万円減少したこと等によるものであります。

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億51百万円減少し、78億45百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5億44百万円減少の65億67百万円となりました。これは主に、未成業務支出金が2億34百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が4億15百万円、未収入金が2億59百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6百万円減少の12億77百万円となりました。

固定資産のうち有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ4百万円増加の1億23百万円となりました。これは主に、パソコンの購入等によるものであります。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ2百万円減少の94百万円となりました。これは主に、減価償却によるものであります。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ8百万円減少の10億60百万円となりました。これは主に、投資有価証券が4百万円増加しましたが、敷金及び保証金が8百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億69百万円減少の25億64百万円となりました。これは主に、買掛金が1億89百万円、未払法人税等が1億78百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ11百万円減少の3億71百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が8百万円、長期借入金が4百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億70百万円減少の49億8百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億79百万円減少したこと等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて88百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末は、21億22百万円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億20百万円(前年同四半期は1億16百万円の使用)となりました。これは主に、たな卸資産の増加額が2億34百万円、仕入債務の減少額が1億88百万円、法人税等の支払額が1億77百万円ありましたが、売上債権の減少額が4億15百万円、未収入金の減少額が2億59百万円あったこと等によるものであります。

(略)

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて88百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末は、21億22百万円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1億20百万円(前年同四半期は1億16百万円の使用)となりました。これは主に、たな卸資産の増加額が2億34百万円、仕入債務の減少額が1億89百万円、法人税等の支払額が1億77百万円ありましたが、売上債権の減少額が4億15百万円、未収入金の減少額が2億59百万円あったこと等によるものであります。

(略)

第5 【経理の状況】

2 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び前第1四半期連結累計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、また、当第1四半期連結会計期間(平成22年7月1日から平成22年9月30日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成22年7月1日から平成22年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び前第1四半期連結累計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、また、当第1四半期連結会計期間(平成22年7月1日から平成22年9月30日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成22年7月1日から平成22年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,122,672	2,211,175
受取手形及び売掛金	1,792,014	2,207,671
未成業務支出金	455,427	220,602
未収入金	2,142,549	2,401,761
前払費用	36,456	37,030
繰延税金資産	50,340	68,147
その他	14,306	10,892
貸倒引当金	2,784	1,805
流動資産合計	6,610,981	7,155,475
固定資産		
有形固定資産	123,056	119,020
無形固定資産	94,208	96,232
投資その他の資産		
投資有価証券	297,443	292,482
保険積立金	305,714	297,194
繰延税金資産	202,494	211,224
再評価に係る繰延税金資産	18,972	18,972
敷金及び保証金	246,991	255,875
その他	19,530	19,786
貸倒引当金	8,446	8,583
投資その他の資産合計	1,082,700	1,086,951
固定資産合計	1,299,965	1,302,203
資産合計	7,910,947	8,457,679
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,223,883	1,412,439
短期借入金	840,000	840,000
1年内返済予定の長期借入金	18,048	18,048
未払法人税等	-	178,224
賞与引当金	58,988	17,597
役員賞与引当金	3,617	-
その他	408,878	456,123
流動負債合計	2,553,417	2,922,433
固定負債		
長期借入金	59,804	64,316
退職給付引当金	156,236	149,845
役員退職慰労引当金	153,515	162,465
その他	2,300	6,275
固定負債合計	371,856	382,901
負債合計	2,925,273	3,305,334

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,994	948,994
資本剰余金	1,027,376	1,027,376
利益剰余金	3,540,843	3,716,610
自己株式	470,140	470,140
株主資本合計	<u>5,047,073</u>	<u>5,222,841</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,007	44,899
土地再評価差額金	27,642	27,642
評価・換算差額等合計	<u>63,649</u>	<u>72,542</u>
新株予約権	844	738
少数株主持分	1,405	1,306
純資産合計	<u>4,985,674</u>	<u>5,152,344</u>
負債純資産合計	<u>7,910,947</u>	<u>8,457,679</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,122,672	2,211,175
受取手形及び売掛金	1,745,659	2,161,317
未成業務支出金	455,458	220,572
未収入金	2,214,549	2,401,761
前払費用	36,456	37,030
繰延税金資産	50,340	68,147
その他	17,062	13,687
貸倒引当金	2,784	1,805
流動資産合計	6,567,414	7,111,885
固定資産		
有形固定資産	1,123,056	1,119,020
無形固定資産	94,208	96,232
投資その他の資産		
投資有価証券	297,443	292,482
保険積立金	305,714	297,194
繰延税金資産	199,143	212,289
再評価に係る繰延税金資産	-	-
敷金及び保証金	246,991	255,875
その他	19,530	19,786
貸倒引当金	8,446	8,583
投資その他の資産合計	1,060,377	1,069,044
固定資産合計	1,277,642	1,284,296
資産合計	7,845,057	8,396,182
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,235,419	1,424,767
短期借入金	840,000	840,000
1年内返済予定の長期借入金	18,048	18,048
未払法人税等	-	178,224
賞与引当金	58,988	17,597
役員賞与引当金	3,617	-
その他	408,878	456,123
流動負債合計	2,564,953	2,934,761
固定負債		
長期借入金	59,804	64,316
退職給付引当金	156,236	149,845
役員退職慰労引当金	153,515	162,465
その他	2,300	6,275
固定負債合計	371,856	382,901
負債合計	2,936,809	3,317,662

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,994	948,994
資本剰余金	1,027,376	1,027,376
利益剰余金	3,482,389	3,661,757
自己株式	470,140	470,140
株主資本合計	4,988,619	5,167,988
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,007	44,899
土地再評価差額金	46,614	46,614
評価・換算差額等合計	82,621	91,514
新株予約権	844	738
少数株主持分	1,405	1,306
純資産合計	4,908,248	5,078,519
負債純資産合計	7,845,057	8,396,182

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2 3,200,424	2 2,248,376
売上原価	2,841,534	2,003,990
売上総利益	358,889	244,386
販売費及び一般管理費	1 257,517	1 196,411
営業利益	101,372	47,975
営業外収益		
受取利息	2	15
受取配当金	1	2,801
役員報酬返納額	3,180	-
雑収入	1,591	632
営業外収益合計	4,774	3,449
営業外費用		
支払利息	2,478	1,863
売上債権売却損	1,385	73
保険解約損	40	-
雑損失	84	260
営業外費用合計	3,988	2,196
経常利益	102,158	49,227
特別損失		
投資有価証券評価損	-	10,035
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	7,233
特別損失合計	-	17,268
税金等調整前四半期純利益	102,158	31,959
法人税、住民税及び事業税	34,045	3,005
法人税等調整額	17,841	20,433
法人税等合計	51,886	23,438
少数株主損益調整前四半期純利益	-	8,520
少数株主利益	-	98
四半期純利益	50,272	8,421

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	2 3,210,913	2 2,248,376
売上原価	2,853,587	2,003,175
売上総利益	357,325	245,200
販売費及び一般管理費	1 257,517	1 196,411
営業利益	99,808	48,789
営業外収益		
受取利息	2	15
受取配当金	1	2,801
役員報酬返納額	3,180	-
雑収入	1,591	632
営業外収益合計	4,774	3,449
営業外費用		
支払利息	2,478	1,863
売上債権売却損	1,385	73
保険解約損	40	-
雑損失	84	260
営業外費用合計	3,988	2,196
経常利益	100,594	50,042
特別損失		
投資有価証券評価損	-	10,035
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	7,233
特別損失合計	-	17,268
税金等調整前四半期純利益	100,594	32,773
法人税、住民税及び事業税	34,045	3,005
法人税等調整額	17,204	24,849
法人税等合計	51,249	27,854
少数株主損益調整前四半期純利益	-	4,918
少数株主利益	-	98
四半期純利益	49,345	4,819

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	102,158	31,959
減価償却費	9,780	12,288
のれん償却額	-	2,256
株式報酬費用	105	105
出資金運用損益(は益)	537	-
保険解約損益(は益)	57	-
賞与引当金の増減額(は減少)	52,530	41,391
役員賞与引当金の増減額(は減少)	6,667	3,617
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,448	6,391
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	43,683	8,949
受取利息及び受取配当金	3	2,816
支払利息	2,478	1,863
投資有価証券評価損益(は益)	-	10,035
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	8,783
売上債権の増減額(は増加)	484,516	415,657
未収入金の増減額(は増加)	14,907	259,212
たな卸資産の増減額(は増加)	41,823	234,582
その他の流動資産の増減額(は増加)	15,677	3,008
仕入債務の増減額(は減少)	207,777	188,555
その他の流動負債の増減額(は減少)	71,982	55,499
その他	-	2,872
小計	352,602	297,277
利息及び配当金の受取額	3	2,816
利息の支払額	-	1,842
移転費用の支払額	42,948	-
法人税等の支払額	426,104	177,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,446	120,736
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	30
有形固定資産の取得による支出	51,160	2,882
無形固定資産の取得による支出	6,300	9,358
投資有価証券の取得による支出	6,072	-
出資金の分配による収入	915	-
従業員に対する貸付けによる支出	-	300
従業員に対する貸付金の回収による収入	125	225
その他の支出	13,476	8,519
その他の収入	1,610	297
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,358	20,569

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	-	4,512
配当金の支払額	184,302	184,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	84,302	188,700
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	275,107	88,532
現金及び現金同等物の期首残高	1,942,512	2,210,653
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,667,405	1,212,121

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	100,594	32,773
減価償却費	9,780	12,288
のれん償却額	-	2,256
株式報酬費用	105	105
出資金運用損益(は益)	537	-
保険解約損益(は益)	57	-
賞与引当金の増減額(は減少)	52,530	41,391
役員賞与引当金の増減額(は減少)	6,667	3,617
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,448	6,391
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	43,683	8,949
受取利息及び受取配当金	3	2,816
支払利息	2,478	1,863
投資有価証券評価損益(は益)	-	10,035
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	8,783
売上債権の増減額(は増加)	476,023	415,657
未収入金の増減額(は増加)	14,907	259,212
たな卸資産の増減額(は増加)	35,183	234,642
その他の流動資産の増減額(は増加)	15,423	2,970
仕入債務の増減額(は減少)	202,094	189,348
その他の流動負債の増減額(は減少)	74,502	55,499
その他	-	2,872
小計	352,602	297,277
利息及び配当金の受取額	3	2,816
利息の支払額	-	1,842
移転費用の支払額	42,948	-
法人税等の支払額	426,104	177,515
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,446	120,736
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	30
有形固定資産の取得による支出	51,160	2,882
無形固定資産の取得による支出	6,300	9,358
投資有価証券の取得による支出	6,072	-
出資金の分配による収入	915	-
従業員に対する貸付けによる支出	-	300
従業員に対する貸付金の回収による収入	125	225
その他の支出	13,476	8,519
その他の収入	1,610	297
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,358	20,569

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	-	4,512
配当金の支払額	184,302	184,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	84,302	188,700
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	275,107	88,532
現金及び現金同等物の期首残高	1,942,512	2,210,653
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,667,405	2,122,121

【注記事項】

(1株当たり情報)

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年6月30日)
1株当たり純資産額 <u>435.33円</u>	1株当たり純資産額 <u>447.39円</u>

2 1株当たり四半期純利益金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>4.37円</u> なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 <u>0.73円</u> なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	<u>50,272</u>	<u>8,421</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	<u>50,272</u>	<u>8,421</u>
期中平均株式数	11,511,813	11,510,365
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末 (平成22年6月30日)
1株当たり純資産額 <u>428.57円</u>	1株当たり純資産額 <u>440.98円</u>

2 1株当たり四半期純利益金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>4.29円</u> なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 <u>0.42円</u> なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	<u>49,345</u>	<u>4,819</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	<u>49,345</u>	<u>4,819</u>
期中平均株式数	11,511,813	11,510,365
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年12月7日

株式会社テー・オー・ダブリュー
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 長 田 清 忠 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 湯 浅 信 好 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社テー・オー・ダブリューの平成22年7月1日から平成23年6月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成22年7月1日から平成22年9月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成22年7月1日から平成22年9月30日まで)に係る訂正報告書の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社テー・オー・ダブリュー及び連結子会社の平成22年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。